

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス T-DREAM HOUSE		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 26日		R7年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	R6年 12月 25日		R7年 1月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動を中心とした療育プログラムを構成しており、運動を通して体の動かし方が上手になったり(身体的)、ルールを学んだり(社会的)、勝ち負けなどに対する気持ちの折り合い(精神的)など様々な面での成長を図ることが出来る。	運動を通して、小さな成功体験を積み重ね、自己肯定感の向上や感情のコントロール、集中力の向上、協調性と社会性の向上を図れるような声掛けを継続して行うように意識的に行っている。	利用してくれている子どもたちや保護者のニーズを把握し、反映できるような体制づくりをしていく。
2	専用のフットサルコートがあり、利用している子どもたちのための時間・場所を提供することが出来る。	安全に十分な運動量・質を確保できるようなプログラムを構成するようにしている。	利用してくれている子どもたちや保護者のニーズを把握し、反映できるような体制づくりをしていく。
3	高い専門性と豊富な経験を持つ元アスリートが、お子さま一人ひとりの発達に合わせた運動療育を実施できる。	基礎から応用まで丁寧に指導し、運動能力向上はもちろん、体力向上、集中力アップ、協調性や社会性の向上、自己肯定感の向上など、様々な効果を狙っている。	継続して、成長できる場を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会や保護者向けの研修機会などが足りない。	開所1年目にてイベント開催へ注力出来ていなかった。	今年度は保護者同士の交流も目的とした「親子フットサル」の開催が1回にとどまったが、今後は定期開催するとともに、保護者同士の情報共有や相談し合えるような保護者会・研修会なども開催していきたいと考えている。
2			
3			